

|             |            |
|-------------|------------|
| 群<br>教<br>セ | G15-01     |
|             | 平 25.251 集 |
|             | 小・キャリア     |

# 人間関係形成・社会形成能力を高める

## 総合的な学習の時間

——地域と連携した活動の充実を通して——

特別研修員 片貝 佳美

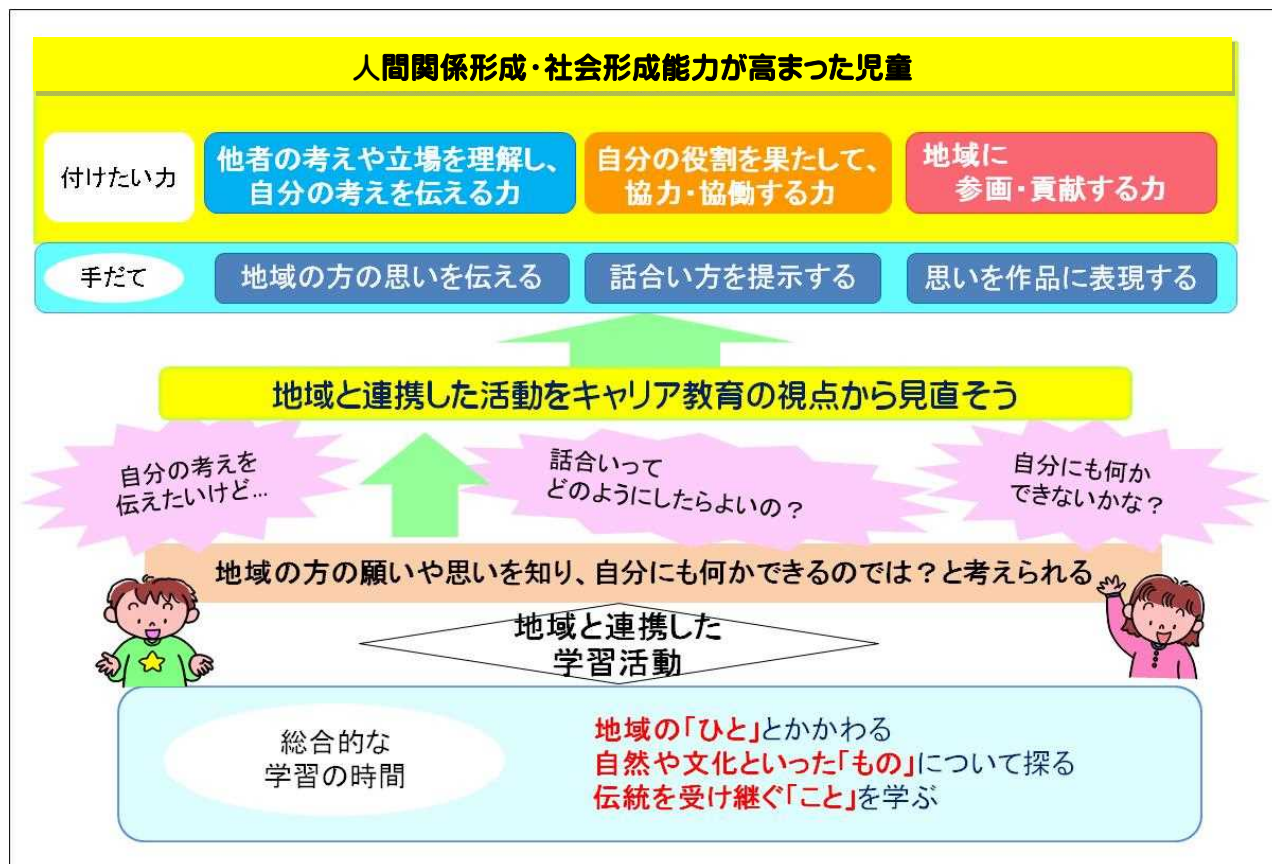
### I 主題設定の理由

平成 25 年度群馬県学校教育の指針において、『はばたくぐんまの指導プランで示した「向上する心」「やりぬく心」「大切に作る心」の「3つの心」と関連を図った発達段階に応じた体系的なキャリア教育を推進する』とある。本校の3年生の総合的な学習の時間では、地域に目を向け、地域のことを題材にした学習活動を行い、「3つの心」の「大切に作る心」に焦点をあてた「地域を大切に作る心」の育成に取り組んでいる。この地域を題材にした学習活動をキャリア教育の視点から見直すことにした。

地域の「ひと」とかかわり、自然や文化といった「もの」について探り、伝統を受け継ぐ「こと」を学ぶ地域と連携した学習活動を地域の方の願いや思いを受け、自分にできることを考え伝え、友達と協力・協働して地域に参画・貢献できる児童の育成の視点からとらえ、人間関係・社会形成能力を高めていこうと考えた。

### II 研究内容

#### 1 研究構想図



#### 2 授業改善に向けた手立て

ふるさと学習「つきのきはかせになろう」（第3学年・総合的な学習の時間）において、地域の方の思いを伝える場を設定した。

## (1) 実践2における研究上の手だて

○地域の方の願いや思いを伝えるための手だてとして、以下の二つを実践した。

- ・地域の方の願いや思いが詰まった題材を選考する。
- ・地域の方の願いや思いを写真や音声を使った教材や交流を通して伝える。

- ① 地域の方の願いや思いを知り、自分で地域のために何かできることをしようと意欲をもつことをねらいとする授業を行った。教材として20年前に地域の方が作成した紙芝居を使った。紙芝居作りに携わり読み聞かせ活動を行っていた地域の方とともに紙芝居の読み聞かせを行った。
- ② 地域の方がどんな思いで紙芝居を作成したかを話していただいた。また、紙芝居作りの中心となった方にインタビューを行い、授業の中で録音した声を流し、写真を掲示するなどして親近感をもてるようにした。その結果、児童は身近にありながら知らなかったことを意識し、「思いを受け継ぎたい」「大切にしたい」という思いをもつようになった。

そこで、実践1の中で児童から「大切にしたい」という思いを何かの形で残したいという意見が出てきた。この意見を生かして実践3を実践した。

## (2) 実践3における研究上の手だて

○意見交流するための手だてとして、以下の二つを実践した。

- ・考える視点や意見をまとめる際の視点を提示する。
- ・意見の伝え方や発表の仕方を「話し合い方」として提示する。

- ① 考える視点や意見をまとめる際の視点を提示したことで、話し合いが円滑に進み、一人一人の意見を生かしたグループとしての意見にまとめることができた。
- ② 「話し合い方」を提示し、自分の考えを伝えるだけでなく、お互いの考えを生かしてよりよい意見になるよう感想・質問・アドバイスのいずれかを伝えさせることにしたことで、自分の意見が生かされ、協力して計画を立てることができた満足感をえることができ、今後の活動への意欲の向上につながった。

## Ⅲ 研究のまとめ

### 1 成果

- 地域の方に授業に参加していただき、交流したことで、自分と異なる立場や考えを理解し、自分の考えを伝える力を育成することができた。
- 「話し合い方」を提示することで、相手への意見の伝え方を理解し、自信をもって意見交流ができるようになり、自分の役割を果たして、協力・協働する力を育成することができた。
- 紙芝居「榎の木」を題材にしたことで、地域への愛着が湧き、地域を大切に思う心・伝統を受け継ぎたいと思う心をはぐくみ、地域に参画・貢献する力を育成することができた。

### 2 課題

- 地域の方に来ていただいていた授業では、事前に学校側の要求と地域の方の考えを伝え合っておき、授業のねらいに合った交流場面や交流内容の計画を立てる必要がある。

### 3 地域力を生かしたキャリア教育実践に向けて

- キャリア形成には、経験や人との触れ合いが総合的にかかわってくることから、家庭や地域社会との連携が不可欠である。地域の教育資源の発掘・活用、また地域と連携した体験活動を充実させることは、児童のキャリア発達の効果的な推進に寄与すると言える。

#### IV 実践及び改善の実際

##### 実践 2

### 1 単元名 ふるさと学習「つきのきはかせになろう」

### 2 本単元及び本時について

本単元では、自分たちの生活する地域のよさに気付き、地域に参画・貢献したいという思いを抱き、自分たちにできることを考え、表現することをねらいとしている。自分の生まれ育ったふるさとの自然や文化を意識させることは、「地域を大切に作る心」をはぐくみ、「地域に積極的にかかわっていきこう」という意欲の向上につながる。

本時は、全20時間計画の第6時にあたり、地域の方からふるさとへの思いや願いを聞き、地域への誇りや愛着をもち、「地域を大切に作る」意欲をもつことをねらいとする。20年前に作られた紙芝居「槻の木」に込められた思いを知り、自分たちも槻の木を守り、紙芝居を作った方の思いを受け継ぎたい。そして、その思いを何かの形に表したい。という意欲をもたせる授業である。

### 3 授業の実際

ねらい：紙芝居を作った地域の方の願いや思いを知り、自分も地域のために何かできることをしようと意欲をもつ。

#### 1 大きな「槻の木」の紙芝居があることを知る。

T：(袋の裏側を見せ) この袋の中に入っているものは何でしょう？

S1：絵？ 写真？

T：(袋の表側を見せ、「槻の木」の字を指し) この字を読める人はいますか？



図1 紙芝居の袋

S1：つきのき

S2：1993って書いてある。

S3：20年も前に作られたんだ。

T：みんなの知っている槻の木ってどんな木かな？

S1：大きくって、一番下に穴が開いている。

S2：丈夫な木。太くて長生きしているから。

S3：大きくて鉄の棒で支えられている。

#### 提示の工夫

紙芝居が入っていた袋を見せ、袋の中身や書いてある文字に注目させ、児童の関心を高めた。(図1)

#### 自分の考えを伝える

校歌に歌われる「槻の木」であることを話し、紙芝居の話の内容により集中できるよう、児童から見た槻の木の印象をみんなで伝え合った。

#### 2 紙芝居を聴き、感想を出し合う。

紙芝居作りに携わった地域の方と担任で読み聞かせ

T：紙芝居を聴いて、どんなことを思いましたか？

S1：槻の木って、千年も生きてるんだ。長生きしている。

S2：槻の木が丈夫だから、原小の子も丈夫な子になるように校歌に歌われたんだろう。

S3：槻の木が折れたことがあるなんて知らなかった。

T：どんな話が印象にのこりましたか？

S1：戦争の話

S2：人が木陰で休んでいたこと

S3：雷がけやきに落ちたこと

S4：キノコが生えてきたこと

紙芝居をしていただく地域の方の気持ちを考えた態度がとれる。

#### 自分の考えを伝える

自分の知っていた槻の木と紙芝居の中の槻の木との差を感じられるよう意見を出させた。

#### 自分の考えを伝える

紙芝居「槻の木」に描かれている内容に着目し、町の人たちの思い出がつまっていることに気付かせた。

### 3 紙芝居作りに携わった方の話を聞き、紙芝居作りの思いを知る。

〈紙芝居作りに携わった方の話より〉

「槻の木から見た原町の歴史をみんなで作ろう。

小学生のみなさんにふるさとの事を

よく知ってもらいたい。

好きになってもらいたい」

#### 思いを聞く

事前に紙芝居作りの中心人物の方にインタビューを行い、親近感をもたせるため、話していただいた方の写真を黒板に掲示し、録音した声を流した。(図2)

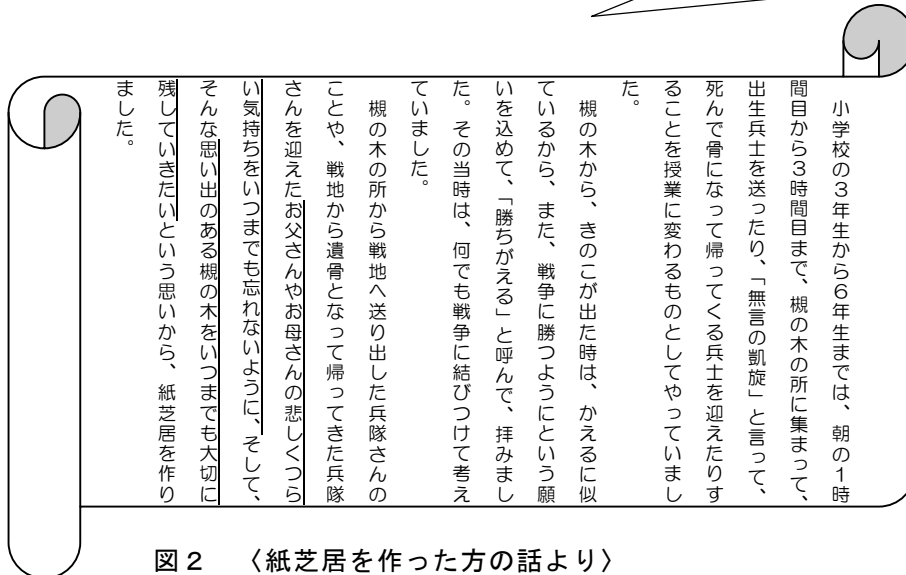


図2 〈紙芝居を作った方の話より〉

### 4 自分たちも槻の木のために何かできることをしようと意欲をもつ。

T : どんな思いから紙芝居「槻の木」を作ったのでしょうか？

S1 : 受け継いで、残して行って欲しい。

S2 : みんなに槻の木のことを知って欲しい。

T : 自分にできることはないだろうか？

S1 : 町の宝。宝物を大切にしたい。

S2 : 下級生に槻の木のことを教えてあげたい。

S3 : 槻の木を育てていきたい。

S4 : 何かの形に残していきたい。

S5 : パズルにする。

S6 : 絵で描く。葉っぱの緑のところを手形で表したい。

地域の方の思いを知って、その思いに対して、自分の意見を伝えることができる。(図3)

#### 自分の考えを伝える

地域の方の思いを聞き、その思いを受け継ぎたいという意欲を言葉で表現させた。

## 4 考察

○他者の考えや立場を理解し、自分の考えを伝える力)

・紙芝居作りの中心人物と紙芝居作りに携わった方の思いを伝えたことは、身近にあるものへの愛着が湧き、自分から地域のために何かやろうと考える意欲を高めることにつながった。

○地域に参画・貢献する力)

・地域の方の願いや思いを伝わる題材として、紙芝居「槻の木」を使ったことは、地域を大切に思う気持ちをもたせ、受け継いでいきたいという意欲をもたせることにつながった。

1 単元名 ふるさと学習「つきのきはかせになろう」

2 本単元及び本時について

本単元では、自分たちの生活する地域のよさに気付き、地域に参画・貢献したいという思いを抱き、自分たちにできることを考え、表現することをねらいとしている。自分の生まれ育ったふるさとの自然や文化を意識させることは、「地域を大切に作る心」をはぐくみ、「地域に積極的にかかわっていこう」という意欲の向上につながる。

本時は、全 20 時間計画の第 8～9 時にあたる。児童は地域の方から 20 年前に作られた紙芝居「槻の木」に込められた思いを聞き、自分たちも槻の木を守り、紙芝居を作った方の思いを受け継ぎたい。そして、その思いを何かの形に表したい。と考えるようになった。この「槻の木への思い」を作品にする活動計画を立てる授業である。

3 授業の実際

ねらい：自分たちにできることを考え、活動計画を立てる。

(1) 課題について確認する。

「槻の木への思い」を作品にする活動計画を立てよう。

伝え合いのポイント

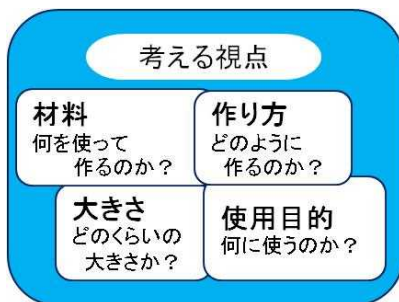
協力して話し合いを進められるよう、「話すこと・聞くこと」のポイントを確認した。

|   |  |
|---|--|
| 話すこと<br>あいさつ<br>あいさつ<br>ー明るく<br>ー生き生きと<br>うーうまく<br>ー言えなくても<br>えーえがおで<br>おー大きな声で | 聞くこと<br>あいさつ<br>あいさつ<br>ーあいつの<br>顔を<br>うーうなずきながら<br>うーうなずきながら<br>えーえがおで<br>おー終わりまで |
|---|--|

(2) 「活動計画」を仲間と相談し、決める。

個別で考える時間  
考える視点の提示

思いを形にしていく活動計画を立てるにあたって、考える視点を与え、ホワイトボードに考えを書かせた。(図 1)



伝え合いに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。

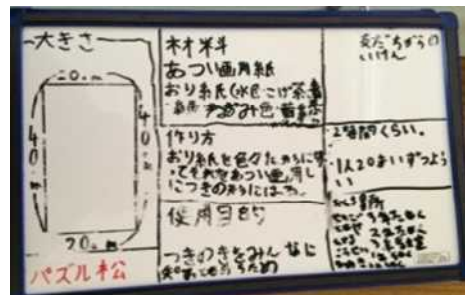


図 3 ホワイトボードに書かれた児童の意見

### 「話し合い方」の提示

「話し合い方」の確認をした。話し合いを円滑に進めるために、司会者を立てた。

グループでの話し合い方  
①何を話し合うかをかくにんする。

今から、について話し合います。  
しakaiをする〇〇です。よろしくお願ひします。

自分の考えをに書いてください。  
時間は分間です。

②みんなの意見を言い、感想・質問・アドバイスを伝える。

△△さんの考えを言ってください。

わたし(ぼく)の考えは、です。  
なぜならば(理由)は、だからです。

△△さんの意見に感想・質問・アドバイスがある人はいませんか？  
□□さん、どうぞ。

しつめいが出た場合 今のしつめいについて、△△さん答えてください。

③グループの考えをまとめる。

みんなの意見をまとめると ということになると思います。それでよいですか？  
それでは、これをわたしたちのグループの意見として発表します。

④終わりのあいさつ これで、グループの話し合いを終わりにします。

話し合ったことを条件に発表するとき  
わたしたちの(ぼくたちの)グループは、話し合ったけっか、次のようになりました。  
わたしたちの(ぼくたちの)意見に、しつめい・感想・アドバイスがある人はいませんか？  
これで、発表を終わりにします。

### 意見交流を深める

聞き手に意見を生かす感想・質問・アドバイスを伝えさせた。(図2)



図2 話し合いの様子

### 全体発表の準備

意見をまとめる際の視点(発表を聞く視点)に沿って、ホワイトボードにグループの意見をまとめさせた。台詞決めを行い、自信をもって発表できるよう発表練習の時間を設定した。

意見をまとめる際の視点

発表を聞く視点

材料はよいか

6時間で作れるか

おく場所を考えているか

### 3 話し合った「活動計画」を発表し合う。

#### 意見を伝える

発表を聞いて、一人一回は感想・意見・アドバイスを伝えさせた。(図3)

意見を聞いて、それに対して自分の考えを伝えることができる。

### 4 グループで「活動計画」を見直す。

#### 他者と協働して課題を解決できる

友達から出た意見や感想を参考に、もう一度自分たちの活動計画を振り返り、よりよい活動計画を立てさせた。

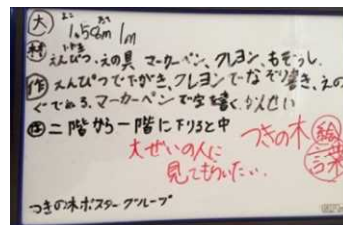


図3 ホワイトボードを使った意見交流

## 4 考察

### ○他者の考えや立場を理解し、自分の考えを伝える力

- ・発表者に対して必ず感想・質問・アドバイスを伝えるようにしたことで、意見をしっかりと聞き、友達の気持ちを考える様子が見られた。
- ・発表で意見・質問・アドバイスを伝え合ったことは、他者の考えや立場を理解し、自分の考えを伝える力の育成につながった。

### ○自分の役割を果たして、協力・協働する力

- ・グループで自主的に分担を決めて発表練習に取り組む姿が見られたことから、話し合いが充実し、発言しようとする意欲を高めることができた。

### ○地域に参画・貢献する力

- ・活動計画を話し合う中で、地域への思いがかなり深まってきた発言が見られるようになった。